

女性のきめ細かな声を届けよう

7月16日から18日までの3日間、町内3会場で『女性の声を聴く1001の会』がありました。女性の声を町政に反映させようと開かれたこの会。はじめに町側から3つの共通テーマについて意見を伺い、その後、女性の皆さんから、今後のまちづくりなどについての意見や要望が出されました。主な内容を紹介します。【女⇨女性の声 町⇨町の回答（対応済のものは対応後の回答）】

◆共通テーマ

●ごみの減量化と地球温暖化対策について

女 食べ残した食材を小さく切り、肥料として野菜を作ったり、化学肥料を使わずに済んだ。

町 生ごみは重量がかさむので、各家庭で堆肥化してリサイクルすることが望ましい。

女 燃えるごみ（ビンのキャップ等）を分別しているが、リサイクルできないか。

町 缶類（アルミ・スチール）は衛自連を介して集落に還元している。ビン類はお金を払って処分している。

女 資源ごみの収集回数を増やせないか。

町 今年の状況を見て、燃えるごみの回数を減らし、資源ごみの回数を増やしたい。

女 いつでも資源ごみが出せる場所を設置できないか。

町 管理上の問題があるので設置できない。

女 プラを出すとき、袋に入れたまま出して良いか。

町 プラのマークが付いている袋でも、必ずレジ袋から出してネットに入れてほしい。

女 電動生ごみ処理機や資源ごみの効果はあるのか、データがあれば教えてほしい。

町 ごみ処理代が1億3000万円程あるが、リサイクルセンター稼働後は、5〜10%程度可燃ごみが減ってる。

◎生ごみ処理機2分の1補助
※2万5000円を限度

◎コンポスト2分の1補助
※2500円を限度

女 両方の補助を行っているので、ぜひ活用してほしい。
町 生ごみ収集が週2回ある

が、祝日の場合、翌日にできないか。

町 収集運搬業者の日程の都合があり無理と思われる。徹底して分別することや生ごみ処理機、コンポストを利用することなどで、ごみを減らす取り組みをお願いしたい。

女 母良木のごみ収集は中身まで点検している。高齢者の分別に難があるので集落で協力して行うべきだと思う。

町 集落でごみ出しに関心を持ってもらい、助け合い、教え合う中で、集落民とのつながりも出てくると思うので、ぜひ協力してほしい。

女 資源ごみの分別が難しいので、分かりやすいパンフレットがでないか。

町 平成21年度に、北薩広域行政事務組合で出水地区統一のパンフレットを作成する。

女 平尾中南では、高齢者のごみ出しに婦人会のボランティアが協力している。蔵之元でも見習いたい。

女 母良木はごみ出しの当番を決めて実施している。当番制にすることで、意識向上が図れるのではないか。

町 当番を決めることで分別の仕方や分別状況が理解できる。地域住民全員による当番制が望ましい。

女 ごみ分別等を子どものうちから徹底すれば、将来役に立つのでは。地域ぐるみで分別に参加させたらどうか。

町 子どものうちからごみ問題に興味を持たせることは重要。夏休み期間中でもそういう機会を持たせてもらえればありがたい。

女 ゴミステーションが唐隈には3カ所しかない。坂が多く

高齢者には大変なので増やせないか。

町 今年度はコミュニティ助成事業（250万円）で実施する。来年度の要望として県に申請したい。ごみステーションを増やすと管理面で負担が出てくる場合もある。高齢者のごみも一緒にだしてもらいう方法はどうか？田舎の温かさ、よさが出てくるのでは？

女 地球温暖化対策として、買い物袋を持参している。

町 全国ではマイバッグ運動が実施されている。本町でも自主的に実践されている人もいますが、町としても広報等を通じて啓発していきたい。

女 自宅の電気料金が高かった

ので、「消す習慣」を心掛けたら、料金が半額になった。
町 小さなことでも意識して取り組むと省エネができる。ぜひ行動を起こしてほしい。

女 焼酎やビールの空き瓶回収（犬鹿倉）はできないか。

町 廃品（焼酎ビン等）は、小・中学校のPTAが活動資金源として回収しているので、町では収集を控えている。平尾